

【施策評価調査】

施策名	2-1-5	歯とからだの健康づくり	85	定期的に健康診査を受診し、身体状況を把握します。 生活習慣病などの疾病について正しく理解します。 生活習慣を改善し、疾病を予防します。 ・健康であることの裏づけは、まず健康診査を受診し、経年の健康状況を確認することで生活習慣病の予防と、 疾病の早期発見による重症化を防ぐ。 ・メタボリックシンドロームの啓発と生活習慣病予備軍の把握を行い、個々の疾病改善のための支援を行なって いく。
	※高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	住民生活部 健康福祉課・住民課	担当 リーダー	健康づくり・総合窓口担当 萩原 敏子・若色 三男	年代に応じた口腔ケアの指導を通じて、虫歯や歯周病の予防を促します。また健康診査の受診率アップをす すめ、健康診査後の結果を生かした生活習慣の改善につなげることで、町民全体の健康維持を図ります。(※「高 根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
環境変化	平成20年度から、健診の基本健診部分及び保健指導が保険者単位となり、生活習慣病予備軍や疾患者特定と改善のための支援プログラムの作成や自らの生活習慣の改善が求められることになった。従来のがん健診はいままで同様に町単位で実施していくこととなる。			

■指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①: 5～9歳のむし歯で医療機関を受診する割合(%)	H16国保疾病統計	計画	0.4%	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%
	0.5%	実績	↓ 1.30%	↓ 1.00%	↓ 1.30%	↓ 2.34%	
指標②: 基本健康診査受診者数(人)	H17基本健康診査受診人数	計画	2,500人	2,550人	2,600人	2,650人	2,700人
	2,450人	実績	↑ 2,679人	↑ 3,074人			
指標③: 小学校1年生でむし歯がない児童の割合	H19学校保健統計	計画			35.0%	35.5%	36.0%
	34.60%	実績		34.6%	↑ 48.3%	↑ 44.6%	
指標④: 特定健診率	H20.3月高根沢町国民健康保険特定健診等実施計画書	計画			30.0%	40.0%	50.0%
	30.00%	実績			↑ 30.7%	↓ 28.3%	
◆◇ 指標に関する特記事項 ◇◆ 指標①は1年間の中の1ヶ月のみの状況であるため、比較が困難である。幼児期の指導の成果が把握できるよう、指標③を追加した。制度の変更により基本健診が特定健診となったため、指標④特定健診受診率を追加。指標②は平成19年度までの実績で終了。							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	42,486,998	38,897,000	49,197,000	23,739,000	
	決算	32,873,774	38,596,706	27,439,847	23,017,967	

■事務事業事後評価 21年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか? (アウトカム)
①生活習慣病予防事業	当初 24,522,000	健康診査受診者(特定健診、がん検診等を受診した実人員)	A	健康診査の結果を通して、生活習慣改善のきっかけとなり重症化を防ぐことができた。
	決算 22,923,897			
②特定健康診査・特定保健指導事業	当初 15,258,000	特定健診の受診者数	A	生活習慣病に特化した健康診査により、受診者が自らの健康状態や生活習慣の改善のために、より健康的な生活習慣に改めることができた。
	決算 11,428,919			
③	当初	/		今後の方向性(自己評価) 今後の方向性(総合評価)
	決算			
④	当初	/		今後の方向性(自己評価) 今後の方向性(総合評価)
	決算			
⑤	当初	/		今後の方向性(自己評価) 今後の方向性(総合評価)
	決算			

■施策事後評価 21年度の検証

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
	総合評価	特定健診の受診率が目標達成に至らなかった。特定保健指導では、該当となったほとんどの人が利用したが、継続できずに脱落した人もいた。最後まで指導を継続することができた人は体重や腹囲の減少、運動の継続、食習慣の改善がみられていた。その後も継続した健診の受診や積極的に事業に参加したりする様子が伺われた。
総合評価	積極的に施策展開していることを評価する。 後期計画に向けて、健康づくりの観点からきめ細やかなフォローをしていきたいという目的は理解できるが、職員負荷や財政状況を勘案し、他部署との連携により一元化された施策展開検討するとともに、健康づくりについては、健康に対する意識など個人に係る部分が多いので、普段意識していない人などに対してどうフォローして受診に繋げていくの常念に意識した施策展開を検討すること。	